

令和6年度授業評価アンケート結果に基づく 令和7年度の授業改善計画報告書

令和6年度授業評価 アンケート結果について	非常に不満	不満	普通	満足	非常に満足	その他
	0%	0%	36%	50%	14%	0%

	全くできなかった	できなかった	どちらでもない	出来た	よく出来た	その他
シラバスに基づいた授業展開	0%	7%	14%	36%	43%	0%
シラバスに記載したCP, DPの対応	0%	0%	7%	64%	29%	0%
来年度に向けた改善点の抽出	0%	0%	22%	64%	14%	0%

令和6年度授業評価 アンケート結果による 自己評価(抜粋)	短大ではほぼ全入時代となっておりどの段階の学生に焦点を当てて教育するのがベストか本当に難しいと感じている。
	学生の満足度は高い様子が感じられたので、より質の高い授業ができるように今後も努力していきたい。
	当然のことはしてきたまでだが、熱意がすごい、わかりやすいとの意見をもらい、他の授業はどのような感じが気になった。非常に努力を重ねて教えてきているつもりであるが、それでも理解してもらえない、話が聞けない学生が多いことは気になる。
	全体平均の数値に届いていない部分を改善する必要があると思った。もう少し授業時間外で積極的に学習したり学生間で意見交換や議論できるような授業内容にしていきたいと思った。
	授業を教員側からの一方的な伝達にせず、学生とのコミュニケーションをできるだけ取りながら進めることができたことは、知識の定着と理解に一定の効果があつたと思われる。

令和7年度に向けて、 授業改善を行いたい項目 (複数選択可)	授業計画(シラバス内容)	教材の開発	授業の準備	教授法	成績評価	クラスルームの活用
	21%	29%	36%	50%	29%	7%
	その他(全学共通LMSのCanvasを活用など)					
	29%					

令和7年度の授業改善計画 (抜粋)	まずはシラバスに授業計画と評価方法を明確に示すこと、そしてできるだけそれに従う、また変更があれば事前に学生に連絡する。教材についてはスライドにおいての文字数を減らし、著作権に問題ない範囲での写真や画像を利用する、または作成する。
	受講者がより積極的に意見を述べられるような授業環境の整備を行う。
	マインドマップを利用し、講義の全体像がわかる配布資料を作成して学生の理解度を高める。
	全学共通LMSのCanvasを活用して効率的、効果的な学修方法を実践したい。
	資格取得を目指す授業の合格率が一般のそれと比較してかなり低いいため、学生の資格取得に対するモチベーションを保ちながら進めていくために、個別指導の時間を増やし、ドロップアウトをしないような指導を心がけたい。